

(単元) これからの消費生活と環境

(本時のねらい)

生活の質の向上と持続可能な社会の形成の実現に向けて、国際社会や地球環境をも視野に入れた実践的な消費行動について考えさせる。また、安全で安心できる消費生活の実現に取り組んでいる企業の活動事例を取り上げ、それらの活動に関心をもたせるとともに、積極的な関与の在り方について考えさせる。

企業、行政、消費者が連携して持続可能な社会の形成や生活の質を向上させる消費者市民社会について考えさせ、主体的に活動する能力と態度を身に付けさせる。

(ICT活用方法)

持続可能な社会についての理解を深めさせるために、NHK 高校講座の動画を活用した。従来は、教室設置の電子黒板に投影して一斉に視聴しているが、今回は、各グループごとにタブレット端末を使って視聴することにより、必要な部分を繰り返し視聴したり、静止してメモを執ったりして理解を深めることができる。また、生徒が企業の CSR 活動の資料を作成する際に、タブレット端末を利用して作成することで、web 上の画像やデータを利用してわかりやすい資料を作成することができ、また修正が容易にできることで作成に要する時間を短縮できる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	・本時の目標を確認する。	・身近な消費行動の経験から考えさせる。	・キーワードを表示したスライドを提示し、本時の目標を明確に示す。	
展開	・NHK 高校講座を視聴し、消費行動と社会問題との関連を理解する。 ・企業の CSR 活動について調べ、企業の PR 広告を作成する。	・各グループごとに身近な消費行動と関連させながら、企業の CSR 活動について調べさせる。	・各グループごとに重要であると考えられる箇所で静止してメモを執ったり、繰り返し視聴したりしてより理解が深まるよう視聴させる。 ・電子黒板を用いて、有効な情報が得られるサイトを示す。	・web サイト NHK 高校講座 家庭総合第21回 チャプター 4 ・5 ・web サイト 経団連 1%クラブ

40分	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でできる消費行動について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループが作成した広告を参考にして，自らの行動について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループが作成した広告を電子黒板に提示する。 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の消費行動を振り返り，持続可能な社会を目指した消費行動について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品を購入する際には，様々な条件を考慮する必要があることを理解させる。 		

(授業の様子)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

消費者教育は，主体として経済活動を行っていない高校生にとっては一般論に陥りやすい点がある。導入部分で生徒の身近な消費行動について考えさせることにより，またそれが社会と大きく関係している身近な問題として捉えられるよう，グループでの話し合いや企業の CSR 活動についての調べ学習を行った。今後は，各グループがタブレット端末を持参して，企業見学や市場調査を行い，CSR 活動の実態を調査したものを報告し，どの CSR 活動に賛同できるかといった消費行動選挙等を行う授業をが実践できれば，より身近なものとして捉えることができ，実践的な消費行動につなげられることができると考える。

(参考 web サイト)

- ・「経団連 1 %クラブ」 <https://www.keidanren.or.jp/lp-club/>
- ・NHK 高校講座家庭総合第21回 「どうする？未来につなぐ買い物～持続可能な消費生活～」 <https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/katei/archive/chapter021.html>